

平成22年度第2回北海道ブロック協議会
第3回北海道代協理事会
議事録

平成22年8月6日(金)pm1:30~5:00
於:札幌センチュリーロイヤルホテル

出席者

本部常任理事	高梨 重勝	函館	理事	見上 峰夫	札幌	理事	山吉 行雄	釧路
会長	山口 史朗	札幌	理事	梅基 伸男	札幌	理事	大高 喜弘	釧路
副会長	長尾 忠正	釧路	理事	廣瀬 禎	室蘭	理事	吉田 和彦	釧路
副会長	羽山 和広	帯広	理事	寺田 賢	旭川	理事	酒井 惇	帯広
副会長	小谷田正彦	旭川	理事	鈴木 雅裕	小樽	監事	島崎 広隆	札幌
副会長	山崎 善仁	札幌	理事	佐藤 聖	苫小牧	監事	木下 裕章	小樽
副会長	松浦 則雄	函館	理事	古宇田 渉	苫小牧	監事	木村 宏文	千歳
専務理事	赤山 登	札幌	理事	多和 康司	千歳	教育委員長	富田 明久	苫小牧
常務理事	富谷 則文	札幌	理事	小野 修	函館	企画広報委員	木村 勇人	函館
理事	佐々木雅之	札幌	理事	伊藤 輝雄	函館	事務局	藤田 和代	札幌
理事	町野 泰明	札幌	理事	大橋 敏	函館			

司会 専務理事 赤山 登

1. 開会の辞(山崎善仁)

2. 北海道代協会長挨拶(山口史朗)

- 1、13期保険大学校募集北海道代協目標達成の御礼を述べる。
- 2、新任役員を紹介および簡単な会長就任挨拶をする。(会員のための組織を目指し、そのためにスローガンに掲げた<行動する北海道代協に生まれ変わる>に向けてまい進する旨)
- 3、議事への活発な議論をお願いしたい。

3. 日本代協常任理事挨拶(高梨重勝)

- 1、13期保険大学校募集全国目標達成の御礼を述べる。
- 2、日本代協認定保険代理士と損保協会募集人制度の現状

4. 倫理綱領の朗読(富田明久)

5. 議長選出

議長には羽山和広副会長(帯広)が指名され、承認を得た。

6. 議事録署名人の選出

議事録作成者に富谷則文常務理事(札幌)、議事録署名人に町野泰明(札幌)、見上峰夫(札幌)各氏が指名され了承を得た。

7. 議 事

[I] 報告事項

(1) 日本代協常任理事会報告(高梨重勝)

- 1、新しい募集人制度へむけて損保協会と代協が合同研究会を設置、その現状報告がされた。認定保険代理士の国家資格化へも追い風となるものである。
- 2、上記のような時期において、13期保険大学校受講者目標達成は大きな意義を持つものであった。また、全国代理店登録数、募集人登録数が大きく減少傾向にあるため、代協の組織率事態は上がっているが、北海道はまだまだ低い数値であるので、会員増強にも力をいれていただきたい。

(2) 日本代協総会・全国会長会議報告(山口史朗)

- 1、個人的なものではあるが、今回の会議出席で日代協の良い面、悪い面両方を発見する事ができた様に思う。
- 2、上記会議の中で、金融庁監督局保険課長の講演があり、非常に興味深いものであった。(内容は・新しいソルベンシー・マージン数値について ・アリコジャパン行政処分について ・保険会社の不祥事故届出件数の増加 等) また、この講演で担当行政は顧客と直接対峙している代理店の状況を一定理解をしているし、代協自体にも気を配っているのを感じた。
- 3、北海道代協全会員の情報共有化のためにも、私はできるだけ代協ホームページ等を活用して情報提供に心掛けていきたい。

(3) 日本代協委員会報告

(I) 組織委員会(伊藤輝雄)

審議事項にて発表する。

(II) 企画環境委員会(吉田和彦)

- 1、代協正会員実態調査(会議資料P 13)についての結果報告と問題点について(回答率が低いのはアンケート実施の事前周知がなされていなかったため・手数料単位が百万円でありこれでは正確な実態が把握できないので千円単位での設定を要望、依頼する。)
- 2、代理店賠償加入率が北海道は悪いので、積極推進。(今後、保険会社は不祥事故の際の代理店への未求償を監督庁に指摘されているので求償されるケースは増加するであろうとの事)

3、不公平募集のモニタリングもあれば会議資料P 11のフォームで報告の事。

(Ⅲ) 政治連盟(梅基伸男)

現在までの未集金について割当金に上乘せはしていませんので支部別割当達成に努力下さい。(会議資料P 6参照)

(Ⅳ) 地球環境・社会貢献委員会(担当山本仁氏日本代協会議出席のため欠席)

(Ⅴ) 教育委員会(山崎善仁)

1、保険大学校申込は6月26日の全国委員会報告では46%の推進状況であったが、残り期間で追込み目標数達成をした。

2、7月実施済の認定保険代理士の更新試験不合格者は9月22日に札幌で追試を実施予定。

(4) 支部活動報告

各支部の活動については会議資料参照

(5) 各委員会活動報告

各委員会の活動については会議資料参照

[Ⅱ] 審議事項

(1) 今後の活動方針とスケジュール及び責任体制(山口史朗)

本件は山口史朗会長より詳細説明あり(以下)

支部・委員会活動については決定事項に沿って鋭意活動中だと思われませんが、活動をより明確化・全会員に分かりやすくするため、月別(別添)を作成したいので、支部・委員会の活動スケジュールを9月までに本部報告願いたい。支部新入会員オリエンテーション、消費者協会との懇談会は全支部実施を目標として下さい。各委員会、理事会についても四半期に1回、年4回を実施する予定です。

また、支部活動・委員会活動がより活発となるためのサポート役として副会長の5名にはそれぞれ支部・委員会を担当していただく(会議資料P 20)ことを内諾済みです。

<高梨本部理事>が発言

年間スケジュールの中で、人材育成セミナー(4年に1回開催)については本部へ2年に1回程度へ変更要請中との説明。

<佐藤理事>支部主催の新入会員オリエンテーションを具体的にどの様に実施しているかの質問あり。

<佐々木理事>議長より札幌支部が指名され、開催状況を発表。また、日本代協のマニュアルがあることも追言。

*議長採択をとり承認可決

(2) 会員増強(長尾忠正)

本件は長尾忠正副会長より説明あり。(以下)

会議資料P 15の様なりストを各支部で活用していただき、初心にかえり全会員が強化への意識を高めて欲しい。

＜古宇田理事＞が発言

専業以外の業態だと会員としての認識・意識の違いがあり、なかなか募集をしにくい点がある。

＜山口会長＞が答弁

保険を取扱っている点では共通点はあるだろうし、加入資格から言えば属性・業態ではなく、加入希望者の志に重きを置くべきものである。北海道はまだ組織率が低く、保険会社へ積極的に協力を求め最重点課題として取組んでいく所存です。

＜伊藤理事＞が発言

日本代協本部においても、損保協会所属各社の協力への返答は取っているの、各支部は積極的に保険会社に協力を求めている。

＜会議資料P 4の各支部3月末目標会員数は以下のとおり発表＞

札幌—133、室蘭—19、旭川—85、小樽—22、苫小牧—28、千歳—25、函館—80、釧路—87、帯広—49、合計—528

*議長採択をとり承認可決

(3) 委員会活動を軌道に乗せるための具体化

本件は各委員会委員長より発表あり。

- ・苦情処理委員会—現在札幌・帯広以外からは案件が出てきていない状況で、モニタリングと併せ全支部を強化していく。
- ・事業委員会—一年4回を実施、各支部でもできるだけ多く委員会を開催していく。
- ・企画広報委員会—北海道の自主活動として、春に自賠責無保険車追放キャンペーンを実施する。(全国統一の秋実施のものは国交省と個別相談する)
- ・教育委員会—11月5日北海道代協主催公開講座を現在予定推進中でこの場で承認を得たい。
- ・組織委員会—審議事項(2)にて承認済

*議長採択をとり承認可決

(4) 連結決算の科目統一と役員任期(会議資料P 22,23,21 参照)

本件は富谷常務理事・山口会長より説明あり。

- ・全支部の予算科目、決算科目を連結決算のため会議資料P 22・23のと通りの科目設定としていただきたい。予算書・決算書も統一フォームを後日支部宛に送付するのでそれを使用のこと。決算報告期日は4月28日とし期限厳守。
- ・支部役員改選時期が道代協とずれている苫小牧・釧路・帯広および委員の任期が定まっていない支部については道代協との整合性よりなんとか道代協へあわせていた

だきたい。

*議長採択をとり承認可決

(5) 帯広支部30周年について（山口会長より説明）

- ・30周年事業として、支部開催記念セミナーと次回の北海道ブロック協議会・理事会を10月22日に帯広で開催していただきたい旨を帯広支部より依頼された。

*議長採択をとり承認可決

(6) その他

◎ 北海道代協の退任役員表彰規定について（赤山専務理事より説明）

- ・退任役員の表彰規定を作成しておいた方が今後事務局としてもスムーズに運営できるので、作成提案をいたします。

表彰基準—常務理事以上役員を2期4年以上務め退任した者を対象とする。

*議長採択をとり承認可決

8. 閉会の辞(松浦則雄)

議事録作成者 富 谷 則 文

議事録署名人 町 野 泰 明

議事録署名人 見 上 峰 夫